

～令和6年度飛騨市公民館講座開催レポート 第11号～

【お正月準備をしよう！】

12月7日(金)に、午前は古川郷土民芸会館、午後は神岡町公民館で「ミニ門松を作ろう」を開催しました。講師には今年も植木職人の林 賢司氏にお越しいただき、それぞれ古川会場 13 名、神岡会場 6 名にご参加いただきました。

この講座は、日本の伝統的な正月飾りである門松1対をお家に飾りやすいミニサイズで作ります。

まずは、竹を切る作業から始めました。切り方について、切り口が

笑った時の口の形に見えるように、節の位置を気にしながら切るということを説明されました。切り口が笑顔に見え、幸せがくるようにと縁起を担ぐ意味があるそうです。

次に、土台となるブリキ缶に縄を巻き、巻き終えたものに砂を入れ、先ほど切った竹を3本束ねて差し込みました。この3本の並べ方にも、いくつかの種類がありそれぞれ福を招き入れる意味があると教わりました。

最後に、対となるそれぞれに紅白の葉ボタンを植え、赤い実の南天と松を差して完成です。最初から最後まで自分で作るミニ門松で、わが家に年神様をお迎えできます。

参加者からは、「初めて作りましたが、何とか出来ました」、「自分で作りましたが良い正月が迎えられます」、「たいへんでしたが、苦勞して作った甲斐がありました」といった感想が寄せられました。

